

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 8 日

静岡県知事 川勝平太殿

提出者

住 所 大阪市鶴見区茨田大宮3丁目1-7

氏 名 ダイソーケミックス株式会社

代表取締役社長 永松 真一

電話番号 06-6911-9310

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

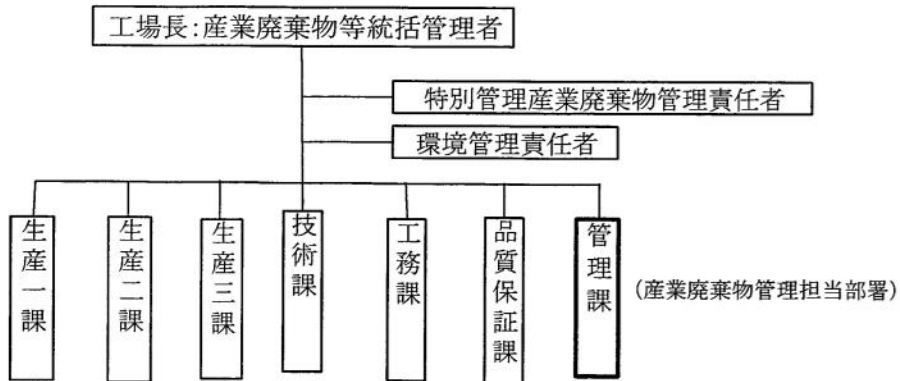
事業場の名称	ダイソーケミックス株式会社 静岡工場
事業場の所在地	掛川市浜野3110
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	製造業(化学工業)
② 事業の規模	販売金額 7625百万円(令和2年度静岡工場実績)
③ 従業員数	正社員79名 パート6名、アルバイト5名、派遣社員1名 計91名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥(有害) ⇒ 外部業者へ処理を委託 引火性廃油 1) 自社処理(焼却) 2) 外部委託処理(焼却または混合エマルジョン化) 3) 外部委託処理(蒸留および再利用)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	排 出 量	415 t	11535 t	292 t
	（これまでに実施した取組） 1) 引火性廃油は可能な限り単品で分取し、リサイクルまたは混合エマルジョン化での処理を推進。 2) 1,4-ジオキサン含有廃水の単独処理（生物処理）にて廃アルカリ（有害）を自社処理。※自社排水処理装置不調時に外部処理依頼実施。			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	排 出 量	400 t	11500 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・引火性廃油については、リサイクルまたは混合エマルジョン化を含む廃油燃料原料とする業者への搬出を主体とする。 ・分別収集については、前年度と同じ。 ・有害物質（1,4-ジオキサン）含有廃水の外部処理0とする。 ・汚泥については 脱水装置変更検討中。			

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 1) THF、酢酸エチルはリサイクル業者へ売却し、再生品を減量として購入使用。またはリサイクル業者で他社へ売却。 2) 焼却炉の安定稼働により自社焼却の増量を進めている。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 実施内容は前年度同様。燃料およびコストに対する効率アップを検討中。

(第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）			

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	11058 t	0 t
（これまでに実施した取組） 焼却炉での非水廃液（トルエン等）や高濃度溶剤の焼却は行わず、廃油燃料原料やりサイクル業者への売却または支給を進めている。				
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	11000 t	0 t
（今後実施する予定の取組） 前年度同様に進める。				

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項				
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら埋立処分を行なった特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）			
②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組）			
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	全処理委託量	415 t	477 t	292 t
	優良認定処理業者への処理委託量	415 t	165 t	292 t
	再生利用業者への処理委託量	0 t	312 t	0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組）			

②計画	【目標】			
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥（有害）	引火性廃油	廃水
	全 処 理 委 託 量	450 t	500 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	450 t	180 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	320 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t
	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度同様に進める。 ・今年度生産量は前年度と同様もしくは増加が予定されているため、廃溶剤が増加の見込みとなっている。 ・廃水については 社内生物処理安定化により 0tを目標とする。 			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度（令和 3年度）実績】			
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	11,241.7 t		
	<p>（今後実施する予定の取組等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新製品の製造等、廃液の増加要因は大きいが現状通り、可能な限り分別を徹底し、リサイクル、自社処分していく。 			
※事務処理欄				

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。